

数の方が治療所に来られたら僕らのレベルではどこまでやれるか不安で、先生方に指導をお願いして、みっちり施術練習をしましたので、何とか3日間で196名の方を治療することができたというところですね。

大月 僕は初めて学外で患者さんを問診したり、お話を聞いたりしたのですが、それで思ったことは、瓦礫の撤去とか、ストレッチとか、体操を一緒にするというのは体を動かしたらいいのですけれども、それよりもっと内面的な精神的な問題を結構みんな抱えておられて、それを聞くというのは鍼灸師としてすごく大事なことだなと思いましたね。

高崎 そう、鍼灸師のメリットは患者さんとの一对一の時間が長いこと。僕たちはほとんど「ああ、そうなんですね」と本当に聞くだけです。患者さんたちは自分の体験した話やつらい話とかを僕たちに話すことによってストレスを解消できるし、鍼との相互作用で「体がすごく軽くなった」と言ってくれるのです。それで、最後に「先生、上手だね」と言われるので、「いや、全然下手くそなんです。僕は」と言ったら（笑）、「そんなあ…」なんて笑いながら「じゃあ、また来ます」って帰られるのです。

清水 触りながら施術をずっとしているので、心を開きやすいところがあるけど鍼灸にはあるので、ほかの人に言えなかったことが、治療中には言えてしまうというのがきっとあると思いますね。



須賀 清子 さん

鳥山 雅子 さん

鳥山 私は治療経験はもちろんありますが、被災地では初めてでしたから、最初、本当にこっちもちょっと尻込みしてぱっとできなかったですね。「大変やな、大変やな」というのが夢でも出てきましたし…。でも、皆さん、本当に頭も手足もバリバリ、ばんばん。本当に大変な体という感じで、最低限の治療は絶対してあげないと、と思って必死でした。

— 初めて鍼を受けられた方は結構おられたのですか？

高崎 69名中26名が経験があって、40名が経験なし。経験ありでも、「20代のころに1回したことがある。70年前に」という90歳のおばあちゃんとか、「中学校時代といったら、20年前だったかな…」とか、「小さいころに何かしてもらった覚えがあるのよね」とか…（笑）、そういう感じなので、実際は9割方は初めてでしたね。

清水 鍼の経験なしという方が多いんですね。

須賀 避難所では、そこで服を脱いで、お腹を出してとか、ちょっとお願いできない状況なので、1回目は本格的な鍼ではなく、ほぐしたりして凝りや痛みを取るのがほとんどで、鍼治療は五十肩の方お一人だけでした。2回目は仮設住宅の敷地内に施術場所があって、衛生面も改善されていたので、「鍼をやったことのない人でもどうですか」と言ったら、「じゃあ、ちょっとやってみようか」と言って受け

られた方が結構おられましたね。それに、マッサージさえ受けたことがなかったけど、初めて鍼をしてもらって、はまったという方もおられましたね。

鳥山 「怖いけど…」と言いながらね。

清水 多分、鍼とかお灸とかは熱そうだとか、痛そうだみたいな気がするから、未経験だったら「よし、行ってみよう」というふうには本当はならない。それでも行ってみようと思うほどしんどかったり、つらかったということでしょうね。

高崎 そうですね。その痛みや辛さは大きかったと思います。

須賀 仮設住宅といっても自分たちのスペースになっただけで、体の凝り方は避難所と一緒に、しんどい体をしておられましたね。写真2は施術した後、「すごい元気がになった。私も横の人のマッサージをするわ」と女性の方に言ってもらったり、和やかな雰囲気になったところですよ。

— 現地での生活で困ったことはなかったですか？

高崎 僕らはありがたいことに宿泊に関しては教え子の実家が所有する家1軒をまるまる借りられて、食べ物とか、テレビやお風呂などの設備も全部整っていたのです。

須賀 私たちは、安全面からも女二人だから寝るところだけ確保しようと、1回目はユースホステル1泊にご飯付きで2500円でした。本当に寝るスペースしかなくて、私はアレルギー持ちなので、寝た瞬間にくしゅんくしゅんになって…。

鳥山 でも、お風呂もあったし、朝ご飯もあって、交通の便も良くて仙台市内までバスで往復できるところでしたし。それに、ボランティアをやっているといたら無料になるのです。期間はあったのですが。

— 体調管理はどうされていました？

高崎 マスクは絶対でした。粉塵がすごいですから。

鳥山 避難所では皆さん、咳をされているのです。みんな日中は泥かき作業とかで、ほこりをすごく吸っているから。

— 現地の鍼灸院とのバランスはどうでしょう？

高崎 一番はそこですよ。営業のじゃまをしないというのは。それで、一番最初に医療チームのトップの方に挨拶しに行った時に、「地元の鍼灸師さんは？」と尋ねたのですが、「いない」と言われたものの、実際には「治療院自体が全部流されていて…」ということだったのです。

清水 つまり治療のための道具がない。人はいるけど鍼がない。

高崎 もしそういう鍼灸師さんがいたら、帰阪する時に持っている鍼をお渡ししようと考えていたのですが、「いない」と言われてしまったので…。



写真2 避難所で治療の後に皆さんと